

第Ⅰ～Ⅲセメスターの授業科目

大阪大学医学部保健学科に入学すると第Ⅰ～Ⅲセメスター（1年半）の間は、主として共通教育系科目と専門基礎教育科目を他学部学生とともに豊中キャンパスで履修します。これによって総合大学に入学して得られる多くの人間関係が生じます。それは将来の職業の実践や研究を行う上でもたいへん意義のあることです。

(1) 共通教育系科目

| 区 分 | 概 要 |
|---------------------------------|--|
| 共通教育系科目 教養教育科目 | <p>教養教育科目は、「基礎教育科目」、「現代教養科目」、「先端教養科目」および「国際教養科目」の4つに区分されます。</p> <p>基礎教養科目は、大阪大学が擁する既成の専門分野のエッセンス的なものを「入門」「基礎的教養」あるいは「思考力の涵養」という観点からわかりやすく講じ、学生のみなさんに当該領域における正しい知識を提供し、かつ当該領域がもつ意義を理解させます。本科目は教養教育科目の中核と位置づけているものです。</p> <p>現代教養科目は、環境、生命倫理、人権、差別など、現代社会が抱えるさまざまな問題を大阪大学が擁する多彩な専門領域から多角的に講じ、現代に生きる学生が同時代の複雑かつ困難な状況について考えるきっかけを提供します。</p> <p>先端教養科目は、大阪大学が擁する既成の専門分野の最先端の研究状況を分かりやすく講じて、研究という営みの魅力や醍醐味を伝えます。また大阪大学教員以外の、世界で活躍する人々からも学びます。</p> <p>国際教養科目は、大学のモットー「地域に生き世界に伸びる」が示す国際化時代に対応しうる会話、教養、マナー等の能力あるいは知性の涵養を目的とし、世界各地域の文化・歴史などの教養を内容とする「国際教養1」および言語習得を主目的とする「国際教養2」の2つに区分されます。</p> |
| 共通教育系科目 基礎セミナー | <p>基礎セミナーは、少人数の学生が教員を囲んで、一つのテーマについて質疑・応答・討論をする対話形式で進める授業です。基礎セミナーでは、学問の先達である教員と直に接しながら、教員の提示するテーマを通じて教員の研究分野や学究態度を学ぶとともに、人生の先輩としての教員の人生観・世界観などを摂取することも可能です。また、実際に実験装置などを使って研究してみる体験的課題追求型授業もあります。</p> |
| 共通教育系科目 言語・情報教育科目 外国語教育科目 | <p>外国語教育科目と情報処理教育科目に二分され、外国語教育科目は、さらに、第1外国語、第2外国語、選択外国語および特別外国語に分けられます。</p> <p>外国語教育科目は、①授業内容の多様化と到達目標の明確化、②少人数クラスの導入、③CALLやESP（English for Specific Purposes）等の最新授業形態の導入、④外国語の多様化などを行い、学生のみなさんによりよい語学教育を提供できるように努力しています。</p> |
| 共通教育系科目 情報処理教育科目 | <p>情報処理教育科目は、「情報活用基礎」をはじめとして合計8つの授業科目で構成されています。コンピュータを用いてメールをやりとりし、レポートを作成することは日常のことであり、コンピュータでは何ができて何が不得意なのか、インターネットやデータベースからほしい情報を得るにはどうすればよいか、入手したデータを適切に扱うためには何に留意すべきかなどを科学的に考えられるようになることは、情報科学を専門としない学生にも重要なことです。</p> |
| 共通教育系科目 健康・スポーツ教育科目 | <p>健康および体力・身体運動に関する幅広い知識を修得し、自主的・合理的に、生涯にわたる自己の心身の健康管理およびスポーツ活動が行える教養と実践能力を育成します。</p> |

(2) 専門教育系科目

① 専門基礎教育科目

専門基礎教育科目では、学部の専門教育の幅広い基礎となる学問を学ぶことになります。これらの科目は下記の視点から選ばれています。

- 1) 専門分野における基礎的な方法の修得
- 2) 専門分野の基礎的な概念の理解
- 3) 専門から発展する周辺分野を理解する能力の養成

原則的に第Ⅲ Semesterまでに全学の教員の協力により開講します。この科目については以下のように専攻ごとに必修科目が指定されていますので注意して下さい。

| 専攻名 | 専門基礎教育・履修科目 |
|---------|--|
| 看護学 | 心理学実験、統計学B-I、数学A、化学要論、生物科学概論A、生物科学概論B、心理・行動科学入門、[統計学B-II] |
| 放射線技術科学 | 数学概論A、数学概論B、「物理学概論I-II」、「物理学入門I-II」、物理学実験、化学概論、化学実験、(統計学B-I、生物科学概論B) |
| 検査技術科学 | 数学概論A、数学概論B、「物理学概論I-II」、「物理学入門I-II」、物理学実験、化学概論、(分子化学B・基礎有機化学)、化学実験、生物科学概論A、生物科学概論B |

※ ()内の科目については、1つを選択履修

※ []内の科目については希望者は履修することができる。ただし、卒業要件単位には算入不可。

② 専門教育科目

本学科の専門領域を修得する教育科目です。基礎的科目と中核的科目、及び関連する専門的科目から構成されます。4年間にわたる系統的な一貫教育を実施します。

専門教育科目は主に第Ⅳ Semester以降に開講されますが、専門領域に直結し、その専門領域の前提となる基礎的科目は主として第Ⅲ Semesterまでに開講します。

第Ⅰ～Ⅲ Semesterに開講される科目は以下のように専攻ごとに異なりますので注意して下さい。

| 専攻名 | 専門教育科目(第Ⅰ～Ⅲ Semester) |
|---------|---|
| 看護学 | 医療科学概論、解剖学、生理学Ⅰ、生化学、臨床栄養学、微生物学、ライフサイエンス・医療の倫理、看護情報学、看護学概論、基礎看護技術演習Ⅰ(生活援助技術)、基礎看護技術演習Ⅱ(診療援助技術)、基礎看護技術演習Ⅲ(人間関係技術)、公衆衛生看護学概論Ⅰ、臨床小児科学 |
| 放射線技術科学 | 医療科学概論、放射線科学序説、放射線物理学、放射線生物学、医用工学Ⅰ、医療社会学、画像工学、基礎医学Ⅰ |
| 検査技術科学 | 医療科学概論、放射線検査概論、検査技術科学序説、実践情報活用論、生体機能学、公衆衛生学概論、臨床医学概論 |

③ 関連専門教育科目

専門教育科目の周辺に位置する科目で、専門領域の理解を深める科目です。他学科、他学部の専門教育科目の選択履修を認めます。